



主催：東北大学

東北大学 社会にインパクトある研究シンポジウム

持続可能な社会を支える 「資源循環」と「ものづくり」

「社会にインパクトある研究」は持続可能で心豊かな社会の創造に向け、社会の重要な課題の解決に取り組む東北大学の分野横断・学際研究であり、東北大版SDGs活動の中心を担っています。現在、7つのテーマで合計30のプロジェクトが進行しています。本シンポジウムでは、その中から、資源の安定的確保や環境破壊の防止の観点から重要な「資源循環」と「ものづくり」に焦点を当てた取り組みを紹介し、社会課題解決にはどのような価値創造が必要とされるのかを考える機会とすることを目指します。

日時

平成31年
3月12日(火)
13:00—16:50

会場

仙台国際ホテル
2階「平成」

〒980-0021
仙台市青葉区中央4-6-1
(JR仙台駅西口より徒歩5分)

定員：**200**名

登録締切：

平成31年2月8日(金)

※定員になり次第締め切ります。

基調講演

13:40—14:30

無駄を富に変える ～消費者行動を変えて叶える サステナブルな社会～

日本環境設計株式会社
代表取締役社長
高尾 正樹



講演

東北大学

13:10—13:40

「社会にインパクトある研究」の概要

東北大学理事・副学長
(社会連携・震災復興推進担当) 原 信義



講演 1

磁石研究から見た将来の私たちの生活と レアメタル・グリーンイノベーション

14:45—15:25

A4「資源循環」プロジェクトリーダー
東北大学レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター センター長
工学研究科 教授 杉本 諭



講演 2

価値が高い「もの」を作る技術

15:25—16:05

D5「ものづくり」プロジェクトリーダー
工学研究科長 教授 長坂 徹也



講演 3

プラスチックの循環利用から観る 環境価値

16:05—16:45

A0「環境価値学」プロジェクトリーダー
環境科学研究科 教授 吉岡 敏明



登録方法：

FAXまたは以下のURLからお申込みください。

※FAXでのお申し込みの際は、裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、下記FAX番号までお送りください。

登録・お問い合わせ先

東北大学研究推進部研究推進課研究推進係

TEL. 022-217-5014 FAX. 022-217-4841

URL <http://impact.bureau.tohoku.ac.jp/symposiumform.html>



「資源循環」と「ものづくり」
持続可能な社会を支える

東北大学 社会にインパクトある研究 シンポジウム

プログラム (司会：フリーアナウンサー 藤村 由紀子)

| | | |
|------------------------------|---|--|
| 13:00-13:05 | 開会挨拶 | 東北大学総長 大野 英男 |
| 13:05-13:10 | 来賓挨拶 | 経済産業省 |
| 13:10-13:40 | 東北大学「社会にインパクトある研究」の概要 | 東北大学理事・副学長(社会連携・震災復興推進担当) 原 信義 |
| 13:40-14:30 | 【基調講演】 無駄を富に変える ~消費者行動を変えて叶えるサステナブルな社会~ | 日本環境設計株式会社 代表取締役社長 高尾 正樹 |
| 14:30-14:45 | 休憩 | |
| 14:45-16:45 (14:45-15:25) | 【学内講演者による講演】 磁石研究から見た将来の私たちの生活と レアメタル・グリーンイノベーション | A4「資源循環」プロジェクトリーダー 東北大学レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター センター長 工学研究科 教授 杉本 諭 |
| (15:25-16:05) | 価値が高い「もの」を作る技術 | D5「ものづくり」プロジェクトリーダー 工学研究科長 教授 長坂 徹也 |
| (16:05-16:45) | プラスチックの循環利用から観る環境価値 | A0「環境価値学」プロジェクトリーダー 環境科学研究科 教授 吉岡 敏明 |
| 16:45-16:50 | おわりに | 東北大学理事・副学長(研究担当) 早坂 忠裕 |

お申込み

参加希望の方は、下記URLまたはFAXにてお申し込みください。

URL▶▶<http://impact.bureau.tohoku.ac.jp/symposiumform.html>

FAX▶▶022-217-4841 (下記にご記入の上、送信下さい。)



FAX 参加申込書

フリガナ

氏名

ご所属
・役職

E-mail